

40～50代男性の皆様へ

あなたがきっかけで、妊婦さんが風しんに感染すると赤ちゃんが障害をもって生まれる可能性があります。

1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性

風しんの抗体、持っていますか？

お住まいの自治体から、原則無料で風しんの抗体検査と予防接種を受けていただけるクーポン券をお送りしています。

1 抗体検査

クーポン券が届いたら、健康診断の機会などに抗体検査を受けてください。

抗体がない場合

2 予防接種

風しんへの抵抗力がないことがわかった場合は予防接種を受けてください。

原則無料

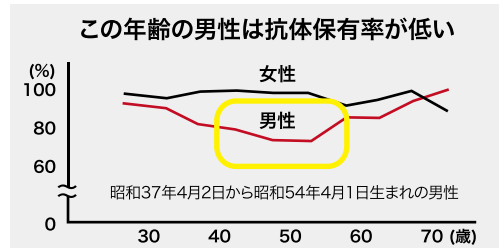


1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

あなたが風しんの感染を拡大させてしまう可能性があります

Q なぜ？

A この年代の男性の皆様には、過去に公的に予防接種が行われていないため、自分が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに広げてしまうおそれがあります。



Q 風しんに感染するとどうなるの？

A

- ・ 自覚症状が少ないため、電車や職場など人が集まる場所で、気付かないうちに多くの人にうつしてしまう可能性があります。
- ・ 妊娠早期の妊婦さんが風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。
- ・ 成人は小児に比べて症状が重くなる可能性があります。

Q では、どうしたら良いの？

A

- ・ まずは、風しんへの抵抗力を確認するため、抗体検査を受けましょう。
- ・ 風しんへの抵抗力が無いこと(抗体なし)がわかった場合、風しんへの抵抗力(免疫)をつけるため、予防接種を受けましょう。

対象者は風しんの抗体検査及び予防接種が原則無料となります。

1962年4月2日から1979年4月1日までに生まれた男性に、お住まいの市区町村からクーポン券が届きますので、クーポン券に従って抗体検査を受けて下さい。なお、2020年度にクーポン券が送付されない・届いていない対象者も市区町村に希望すればクーポン券が発行され、抗体検査を受けられます。

また、子どもの頃に風しんに感染したかどうか記憶が曖昧な場合も抗体検査を受けましょう。

抗体検査 (クーポン券を使えば抗体検査は無料となります。※)

職場での健康診断や近隣の病院・診療所で受けられます。

抗体なし

- ・ 風しんへの抵抗力がありません。
- ・ 風しんにかかるリスクがあります。

抗体あり

- ・ 風しんへの抵抗力があります。

予防接種を受けましょう

原則無料となります。※



風しんから、あなた自身と周りの人を守るために風しんに対する抵抗力を確認・獲得しましょう

風しんとは

感染者の咳やくしゃみ、会話などで飛び散るしぶき(飛沫)を吸い込んで感染します。小児は発熱、発疹、首や耳の後ろのリンパ節が腫れて、数日で治ります。まれに、高熱や脳炎になって入院することがあります。成人は高熱・発疹の長期化や関節痛など重症化の可能性があります。

先天性風しん症候群とは

妊娠初期(20週以前)に風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性心疾患・白内障・難聴を特徴とする先天性風しん症候群をもって生まれてくる可能性が高くなります。

※順次クーポン券が届く予定ですが、自治体により事業の開始時期や対応が異なるため、お住まいの市区町村にお問い合わせ下さい。

